

動物実験に関する自己点検・評価報告書

名古屋文理大学

令和5年3月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 名古屋文理大学動物実験規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 研究機関等における動物実験等の実施に関する基本方針（文部科学省揭示第七十一号）（以下基本方針と略す）に則した動物実験規程が定められている。
4) 改善の方針 特になし

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 名古屋文理大学動物実験規程 委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本方針に則した動物実験委員会が設置されている。 令和4年度動物実験委員会委員構成 動物実験等に関して優れた識見を有する者 2名 実験動物に関して優れた識見を有する者 2名 その他学識経験を有する者 1名
4) 改善の方針 特になし。

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。

☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 名古屋文理大学動物実験規程 動物実験計画書 動物実験終了書 動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本方針に則して、動物実験の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められている。
4) 改善の方針 特になし。

4. 実験動物の飼養保管の体制

（機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 実験動物飼養保管施設、実験室申請書 マウス・ラットの飼養保管指針
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 機関内における実験動物の飼養保管施設が把握されており、飼養保管施設および実験室に実験動物管理者が置かれている。
4) 改善の方針 特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料

名古屋文理大学動物実験規程 令和4年度の動物実験に関する自己点検・評価報告書（名古屋文理大学） 動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画および施設などの承認、実施状況の結果の把握、教育訓練、自己点検評価ならびに情報公開を実施する等、委員会としての役割を果たしている。
4) 改善の方針 特になし。

2. 動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 名古屋文理大学動物実験規程 動物実験計画書 動物実験終了報告書 動物実験結果報告書 令和4年度の動物実験に関する自己点検・評価報告書（名古屋文理大学）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 名古屋文理大学動物実験規程に則り、動物実験計画の立案、審査、承認および結果報告が適切に実施されている。
4) 改善の方針 特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

（当該実験が安全に実施されているか？）

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料（安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする） 名古屋文理大学動物実験規程 動物実験計画書 動物実験終了報告書 動物実験結果報告書 令和4年度の動物実験に関する自己点検・評価報告書（名古屋文理大学）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 令和4年度においては、遺伝子組換え、感染実験等安全管理を要する動物実験は行われていない。 また、名古屋文理大学動物実験規程に則り、動物の逸走などを防ぐために適切な処置が行われている。
4) 改善の方針 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

（実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 実験動物の入手先および飼育履歴に関する記録 年度内の飼養保管した実験動物の種類と数の記録 マウス・ラットの飼養保管指針 動物管理簿 令和4年度の動物実験に関する自己点検・評価報告書（名古屋文理大学）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 名古屋文理大学動物実験規程に則り、適切に飼養保管されている。
4) 改善の方針 特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

（機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物室入退室記録兼飼育（繁殖）記録簿 動物室温湿度記録簿 令和4年度の動物実験に関する自己点検・評価報告書（名古屋文理大学）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

基本方針に則り、概ね適切に維持管理されている。
4) 改善の方針 特になし。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験教育訓練受講者一覧 令和4年度の動物実験に関する自己点検・評価報告書(名古屋文理大学)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 基本方針に則した教育訓練が実施されている。
4) 改善の方針 特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 名古屋文理大学ホームページ
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページに必要な情報を公開している。
4) 改善の方針 特になし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。
